

# 第6回がん検診のあり方に関する検討会

## 福井県における国民生活基礎調査と 全数調査によるがん検診受診率の違い

—大腸がん検診無料クーポン券  
(初年度)の効果の検証を含めて—



公益財団法人福井県健康管理協会副理事長  
県民健康センター所長

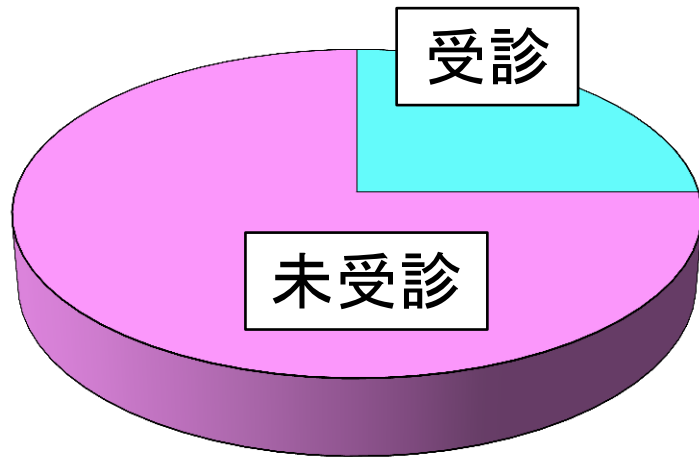
松田 一夫

# がん検診の受診形態

地域（農林水産，自営，無職）

①対策型検診（市区町村）

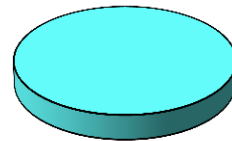
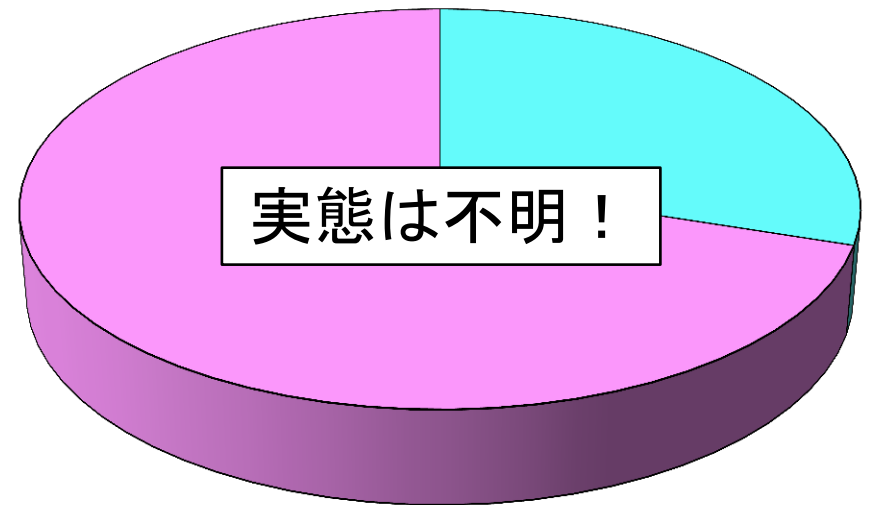
→ 地域保健・健康増進事業報告



職域（公務員，会社員）

②任意型検診

（福利厚生の一環として）



③任意型検診

（自由意思で受診）

実態は不明！

# 国民生活基礎調査による受診率

- ① 受診歴に関する記憶が曖昧
- ② がん検診であることを理解していない  
(便潜血検査: 大腸がん, 胸部X線: 肺がん検診)
- ③ **がん検診**と自覚症状に対する**検査** あるいは  
ポリープ等の**経過観察**との区別が困難

## 大腸がん検診受診率の日米比較(2010年)

- 日本(国民生活基礎調査, 29万世帯: 75万人対象)  
男性: 27.4%, 女性: 22.6%
- 米国(National Health Interview Survey, 3.4万世帯: 9万人)  
男性: 58.5%, 女性: 58.8%

# 全数調査による受診率 (2011年福井県)

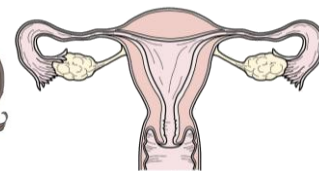
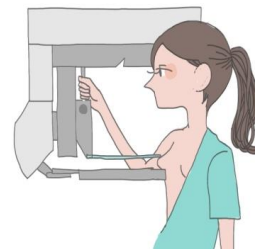
## 地域＋職域

平均: 31.0%

- ・福井県内全市町(福井県健康管理協会)の地域検診
- ・福井県医師会の全施設が実施したがん検診

	胃	肺	大腸	乳	子宮頸
地域 (対前年)	11.9% (+0.6)	22.8% (+1.5)	21.9% (+3.0)	26.6% (+0.3)	34.4% (+1.2)
職域等 (対前年)	30.1% (+0.1)	81.6% (+15.7)	32.1% (-2.6)	16.0% (-1.6)	14.2% (+0.7)
合計	21.6%	54.1%	27.3%	22.0%	24.0%

隔年受診の割合



# 地域・職域におけるがん検診の検査法(2011年福井県)

	検査法	地域	職域
胃がん	◎胃X線検査	100%	40.2%
	胃内視鏡検査	-	59.8%
肺がん	◎胸部単純X線検査 (内喀痰検査)	100%	98.0%
	胸部CT検査	-	(0.6) 2.0%
大腸がん	◎便潜血検査	100%	97.2%
	便潜血検査＋大腸内視鏡検査	-	2.6%
	大腸内視鏡検査のみ	-	0.2%
子宮がん	◎子宮頸部細胞診	100%	100%?
	体がん検診	-	6.6%?
乳がん	◎視触診＋マンモグラフィ	99.0%	93.0%
	視触診のみ	1.0%	2.3%
	視触診＋超音波検査	-	1.6%
	視触診＋マンモ＋超音波検査	-	3.1%

# 福井県におけるがん検診受診率(2010年)

## 国民生活基礎調査と全数調査との比較

		胃	大腸	肺	乳 (隔年)	子宮頸 (隔年)
国民生活 基礎調査	全国	30.1 %	24.8 %	23.0 %	31.4 %	32.0 %
	福井	32.4 %	25.6 %	25.8 %	32.9 %	33.5 %
全数調査	福井	21.2 %	27.3 %	45.0 %	22.5 %*	23.1 %*

※職域(医療機関)におけるがん  
検診は当該年度の受診数

大腸がん検診では両者はほぼ近似するが、  
胃がん・肺がんでは、受診率が大きく乖離する

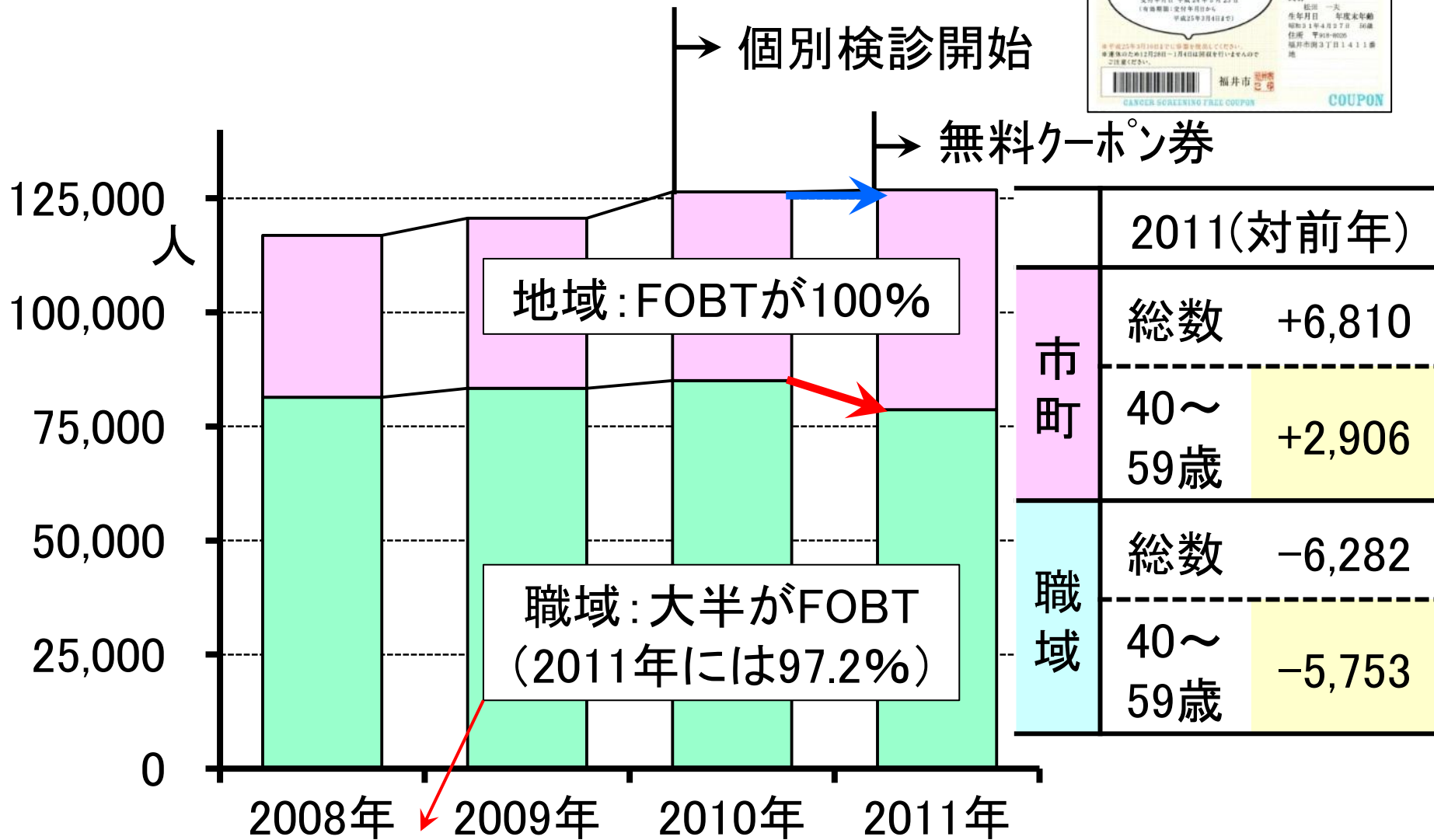
# 大腸がん検診無料クーポン券の効果

- 地域での検診
  - 職域での検診
- を併せて調査する必要

## 把握の方法

- ① 全数調査（医師会もしくは保険者を通じ）
- ②（無作為抽出）アンケート調査
  - 国民生活基礎調査による
  - 無料クーポン券を利用しての調査

# 全数調査(地域+職域)による40歳以上の大腸がん検診(便潜血検査)受診者数の推移



		2011(対前年)	
市町	総数	+6,810	
	40~59歳	+2,906	
職域	総数	-6,282	
	40~59歳	-5,753	

会社の業績等に左右される可能性



# 無料クーポン券で受診勧奨，受診率把握

- ①就労の有無にかかわらず均等に受診勧奨
- ②職域等での受診状況をも把握→→受診率算定



+

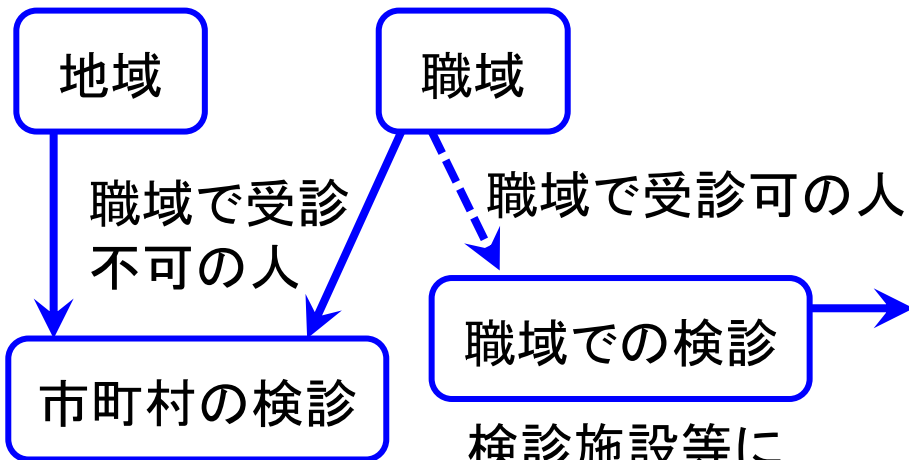
＜がん検診受診調査票＞

この無料クーポン券を利用されない理由をお教え下さい

- ①がん検診を受診しない  
(理由: )
- ②職場での検診・人間ドックで受けた

受診日  
医療機関名

検診機関の担当の方へ  
上記に記入の上、〇〇市へ返送して下さい



市町に  
クーポン券提出

# 結 語

1. 働く世代のがん検診推進事業の効果を検証するには、職域を含めてがん検診の受診状況を正確に把握することが不可欠である。
2. 福井県内での国民生活基礎調査による受診率は、大腸がん検診では全数調査による受診率と近似したが、胃がん検診では高く、肺がん検診では極めて低い結果となり、乖離が見られた。
3. がん検診無料クーポン券は、職域でがん検診を受けられない人を家族とともに地域検診に誘導する上で効果的である。加えて、正確ながん検診受診率把握の手段としても活用すべきである。